

電気学会 電気規格調査会標準規格
JEC-2130-2000 正誤票 - 1A
「同期機」

注：2003年3月25日に掲載した「JEC-2130-2000 正誤票-1」に誤りがありましたので、2003年4月3日に修正版を「JEC-2130-2000 正誤票-1A」として掲載致しました。

発行日： 2003年3月24日

項番	頁	箇所	誤	正
1	17	13行目	$E_t = V + r_a I + \dots \dots \dots (2.2)$	$E_t = V + r_a I + \dots \dots \dots (2.2)$
2	18	下10行目	{ X_d の定義} 電機子定格電圧および定格周波数の	定格周波数の
3	18	下6行目	{ X_q の定義} 電機子定格電圧および定格周波数の	定格周波数の
4	18	下2行目	{ X_d' の定義} ・・・定格周波数および電機子定格電圧のもとに	・・・定格周波数のもとに
5	19	4行目	{ X_d'' の定義} ・・・定格周波数および電機子定格電圧のもとに	・・・定格周波数のもとに
6	19	9行目	{ X_q' の定義} ・・・定格周波数および電機子定格電圧のもとに	・・・定格周波数のもとに
7	20	1行目	2.5.14 短絡比 SCR	2.5.14 短絡比 K_c
8	20	16行目	【備考】はずみ車効果 (GD) ²	はずみ車効果 GD^2
9	26	22行目	(1) 同期発電機の定格出力は、電機子巻線端子における定格出力をワット(W)、キロワット(kW)またはメガワット(MW)で表す。	(1) 同期発電機の定格出力は、電機子巻線端子における皮相電力で表し、その単位はボルトアンペア(VA)、,キロボルトアンペア(kVA)、メガボルトアンペア(MVA)とし、力率を併記する。
10	27	5行目	7.8 節による。	7.8.3 による。
11	28	表 4.1		(29 ページ表中の 5 行)「直接冷却式」の左の欄に「4.」を追加。
12	29	2行目	実測値の 21 倍	実効値の 21 倍
13	29	9行目	(1) 要求事項 開放回路および	(1) 要求事項 電機子端子を開路して
		表 4.2	【備考2】 製造者と購入者の合意	製造者と注文者との合意
14	55	表 7.1(a)	(単位： C)	(単位： K)
			{3(a)項の抵抗法, 3(c)項の温度計法・抵抗法} 〔クラス B〕 80, 〔クラス F〕 100	〔クラス B〕 90, 〔クラス F〕 110
			{注(1)} 電圧交流巻線, (5.3.2 参照)	高圧交流巻線, (7.8.2(1)参照)
15	56	表 7.1(b)	(単位：)	(単位： K)
			{1 項の絶対水素圧に単位記号を追加}	>200, >300, >400 のあとに kPa を追加。 それ以外の 200,300,400 を 200kPa (2.0 bar), 300kPa (3.0 bar), 400kPa (4.0 bar) に訂正。
			{1 項の>200kPa ≤300kPa(3.0 bar)の行} 〔クラス B〕 76, 〔クラス F〕 96	〔クラス B〕 78, 〔クラス F〕 98
			{4(b)項のクラス A} 60	{クラス A} 65
			{注 2} (5.3.2 参照)	(7.8.2 参照)

項番	頁	箇所	誤	正
16	57	表 7.1(c)	[1項] 冷却出口温度	冷媒出口温度
17	59	下5行ないし下1行	・これらの素子は・・・ ・そのために、ガス冷却・・・ ・水冷の場合は・・・	左記の箇条書き全体を6行上の「・・・少なくとも3個以上とする。」の下に箇条書きの形のままで移す。
18	64	下9行目	[備考の3行] 1(c) の限定上昇に基づいて	1(c) の温度上昇限度に基づいて
19	70	表 9.1	[1項2行: 定格 10000kW(kVA)未滿 ⁽²⁾] $2E+1000V$ (最低 1500V)	$2E+1000V$ (最低 1500V) ⁽¹⁾
			[1項3行] 定格 10000kW(kVA)以上	定格 10000kW(kVA)以上 ⁽²⁾
			[1項4行] 定格電圧 E	定格電圧 E ⁽¹⁾
			[2項: 誘導電動機として始動しない場合] 定格界磁電圧(E_f) ⁽³⁾	定格界磁電圧 E_f
			[2項: 誘導電動機として始動する場合の(ii)] $2E_f + 1000V$ ⁽¹⁾ (最低 1500V)	$2E_f + 1000V$ ⁽³⁾ (最低 1500V)
			[3項] 前記1~3項の試験の繰り返しは・・・	前記1~2項の試験の繰り返しは・・・
			[注(3)] この電圧は・・・	この電圧 E_f は・・・
		[注(5)] E_f : ...最大電圧	E_f : ...最大電圧(実効値)	
20	75	下8行目	800kPa(絶対圧) 15分間	800kPa(ゲージ圧) 15分間
21	75	下6行目	800kPa(絶対圧) 15分間	800kPa(ゲージ圧) 15分間
22	83	解説5	[9行目以降(付表1を含む)] 11.2 の短絡強度で、定格・・・ 付表1 ANSI/C50 の・・・	9行目以降(付表1を含む)を「 解説7. (11.2項) 」のタイトルを付けて解説6.のあとに移す。
23	115	3行	X_d'' は、(9.10)式から求められる。	X_d'' は、(7.10)式から求められる。
24	115	下1行目	・・・定格周波数を単相電圧を・・・	・・・定格周波数の単相電圧を・・・
25	120	図 7.14	界源回路の開路時定数	開路時定数
26	123	7行目	$J = \frac{1}{10.97} \times \frac{\Delta N}{\Delta t} \times \frac{P}{N_0} \times 10^6$ (kg・m ²)	$J = \frac{1}{10.97} \times \frac{\Delta t}{\Delta N} \times \frac{P}{N_0} \times 10^6$ (kg・m ²)

次項の付表に「JEC-2130-2000 正誤票-1」と「JEC-2130-2000 正誤票-1A」の比較表を示す。

付 表

「JEC-2130-2000 正誤票- 1」と「JEC-2130-2000 正誤票- 1A」の比較表

項番	箇 所	正誤票 - 1	正誤票 - 1A
1	タイトルの「誤」欄	誤（〔 〕内は説明）	誤
2	項番 9 の「誤」欄	〔 IEC に合わせる〕 (1) 同期発電機の定格出力は、電機子巻線端子における定格出力をワット(W)、キロワット(kW)、またはメガワット(MW)で表す。	(1) 同期発電機の定格出力は、電機子巻線端子における定格出力をワット(W)、キロワット(kW)またはメガワット(MW)で表す。
3	項番 14 の「誤」欄 2 段目	〔 3(a)項の抵抗法, 3(c)項の温度計法・抵抗法の数値を IEC に合わせる〕 〔クラス B〕 80 〔クラス F〕 100	〔 3(a)項の抵抗法, 3(c)項の温度計法・抵抗法〕 〔クラス B〕 80, 〔クラス F〕 100
4	項番 15 の「正」欄 2 段目	>200, >300 のあとに kPa を追加。それ以外の 200,300,400 を 200kPa(2.0 bar), 300kPa(3.0 bar),400kPa(4.0 bar) に訂正。	>200, >300, >400 のあとに kPa を追加。それ以外の 200,300,400 を 200kPa (2.0 bar), 300kPa (3.0 bar), 400kPa (4.0 bar) に訂正。
5	項番 15 の「誤」欄 3 段目	〔 1 項の>200kPa ≤300kPa(3.0 bar)の行の数値を IEC に合わせる〕 〔クラス B〕 76,〔クラス F〕 96	〔 1 項の>200kPa ≤300kPa(3.0 bar)の行〕 〔クラス B〕 76, 〔クラス F〕 96
6	項番 15 の「誤」欄 4 段目	〔 4(b)項の数値を IEC に合わせる〕 〔クラス A〕 60	〔 4(b)項のクラス A〕 60